



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 因幡電機産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9934 URL <https://www.inaba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 肇一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 玉垣 雅之

TEL 06-4391-1781

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	144,121	8.6	8,900	12.2	10,461	21.7	7,502	22.2
2022年3月期第2四半期	132,672	5.4	7,933	9.4	8,594	15.2	6,140	8.1

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 7,732百万円 (17.1%) 2022年3月期第2四半期 6,600百万円 (0.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	134.96	134.15
2022年3月期第2四半期	110.23	109.40

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	219,840	146,391	66.2
2022年3月期	235,420	141,253	59.7

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 145,628百万円 2022年3月期 140,486百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2023年3月期	—	50.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	60.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の期末配当金及び2023年3月期(予想)の期末配当金には、それぞれ特別配当10円が含まれております。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	3.8	17,600	8.2	18,200	3.7	13,000	6.0	234.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	56,419,000 株	2022年3月期	56,419,000 株
2023年3月期2Q	625,215 株	2022年3月期	928,881 株
2023年3月期2Q	55,585,685 株	2022年3月期2Q	55,705,633 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染者が一時急増したものの、行動制限の緩和は維持され持ち直しの動きが見られましたが、原材料価格の高騰をはじめとする物価上昇や急速な円安の進行、ウクライナ情勢の長期化などが懸念されるなか、景気回復は足踏み状態が続きました。

当社グループの係わる電設資材業界は、建築着工や企業の設備投資がコロナ禍前の水準に戻りつつあるなど回復基調となりました。また、自社製品の係わる空調業界は、第2四半期に入り猛暑による需要回復の動きが見られましたが、第1四半期における半導体不足や中国のロックダウン等による供給制約の影響などからルームエアコンの出荷（国内564万台 前年同期比4.2%減）は伸び悩みました。

このような情勢のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って、重点施策を着実に推進するとともに、積極的な営業活動を展開しました。

その結果、売上高は1,441億21百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は89億円（前年同期比12.2%増）、経常利益は104億61百万円（前年同期比21.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は75億2百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <電設資材事業>

銅価格等の高騰により電線ケーブル類をはじめ多くの電設資材の販売価格が上昇したほか、半導体不足等による供給面の制約を受けたものの、首都圏再開発や製造業の設備更新、データセンターなどの大型物件向けに防災設備や受配電設備等の納入があった結果、売上高892億61百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

#### <産業機器事業>

旺盛なデジタル関連需要や自動車業界のEV関連投資などの拡大を背景に半導体関連向けの販売が好調であったほか、製造業を中心とした設備投資が堅調に推移したことにより、制御機器及び電子部品の販売が増加した結果、売上高184億77百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

#### <自社製品事業>

ルームエアコンの出荷が伸び悩んだことによる空調関連部材の需要停滞や、前期の製品価格改定に伴う駆け込み需要の反動減が見られましたが、原材料価格の高騰を受け幅広い製品において価格改定の実施を継続したほか、首都圏を中心とした大型物件向けの納入があったことなどから被覆銅管や空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」の販売が底堅く推移した結果、売上高363億82百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

### （2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、現時点において2022年5月13日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	77,568	69,572
受取手形、売掛金及び契約資産	72,626	59,073
電子記録債権	23,133	20,776
商品及び製品	14,610	19,141
仕掛品	298	397
原材料及び貯蔵品	2,370	3,486
その他	1,754	1,562
流動資産合計	192,363	174,008
固定資産		
有形固定資産		
土地	14,105	14,112
その他（純額）	7,463	7,743
有形固定資産合計	21,569	21,856
無形固定資産	1,462	1,413
投資その他の資産		
投資有価証券	16,993	16,769
その他	3,033	5,801
貸倒引当金	△0	△8
投資その他の資産合計	20,025	22,561
固定資産合計	43,056	45,832
資産合計	235,420	219,840
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	5,603	3,852
買掛金	68,705	54,320
短期借入金	343	387
未払法人税等	4,271	2,495
賞与引当金	5,623	2,667
役員賞与引当金	94	92
製品保証引当金	93	93
その他	4,009	3,209
流動負債合計	88,744	67,118
固定負債		
退職給付に係る負債	54	60
その他	5,368	6,271
固定負債合計	5,423	6,331
負債合計	94,167	73,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,962	13,962
資本剰余金	14,171	14,171
利益剰余金	109,361	113,484
自己株式	△2,413	△1,624
株主資本合計	135,082	139,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,105	5,031
為替換算調整勘定	297	602
その他の包括利益累計額合計	5,403	5,633
新株予約権	766	763
純資産合計	141,253	146,391
負債純資産合計	235,420	219,840

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
売上高	132,672	144,121
売上原価	109,622	118,903
売上総利益	23,049	25,217
販売費及び一般管理費	15,116	16,317
営業利益	7,933	8,900
営業外収益		
受取利息	22	21
受取配当金	548	487
為替差益	37	655
その他	109	431
営業外収益合計	716	1,594
営業外費用		
支払利息	6	6
その他	49	27
営業外費用合計	56	33
経常利益	8,594	10,461
特別利益		
投資有価証券売却益	—	455
関係会社株式売却益	151	13
固定資産売却益	0	5
特別利益合計	152	473
特別損失		
固定資産除却損	16	7
固定資産売却損	0	1
特別損失合計	17	8
税金等調整前四半期純利益	8,729	10,926
法人税、住民税及び事業税	2,436	2,276
法人税等調整額	152	1,147
法人税等合計	2,589	3,424
四半期純利益	6,140	7,502
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,140	7,502

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	6,140	7,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	△74
為替換算調整勘定	12	304
その他の包括利益合計	460	230
四半期包括利益	6,600	7,732



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	83,202	16,132	33,337	132,672	-	132,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,230	361	2,143	3,735	△3,735	-
計	84,432	16,493	35,481	136,407	△3,735	132,672
セグメント利益	2,416	600	6,887	9,903	△1,174	8,729

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,174百万円には、セグメント間取引消去43百万円、報告セグメントに配分していない全社損益△944百万円及びその他の調整額△273百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価、一般管理費、営業外損益及び特別損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	89,261	18,477	36,382	144,121	-	144,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	980	521	2,363	3,865	△3,865	-
計	90,241	18,999	38,745	147,987	△3,865	144,121
セグメント利益	2,649	812	7,694	11,156	△229	10,926

(注) 1. セグメント利益の調整額△229百万円には、セグメント間取引消去48百万円、報告セグメントに配分していない全社損益△263百万円及びその他の調整額△15百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価、一般管理費、営業外損益及び特別損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。